



予告なし 実践的な避難訓練 小立小学校

自分の命は自分で守る



教頭先生と負傷者役の子どもたちとの打合せ

小立小学校で予告なし訓練を実施しました。今回は、「休み時間に震度6弱の地震が発生」「負傷者が出て捜索を行う」という設定。「自分で状況の把握や判断を行い、身を守るための行動がとれる力を養う。揺れが収まってから安全に避難する態度や習慣を養う。」ことを主なねらいとしています。

子どもたちや職員には事前に知らせることなく、休み時間に訓練を行いました。緊急地震速報が流れると、グラウンドにいる児童は、一斉に中央に集まり、座って次の支指示を待ち、教室の児童は、机の下にもぐり、危険物から頭を守る

行動をとるなど、今までの訓練が活かされた行動をとることができました。校長・教頭が司令塔になり、負傷者の救助や校舎内の状況把握等が迅速に行われていました。

今回は、より実践的な訓練にするために富士山科学研究所や町の地域防災課とも連携して実施され、当日ビデオ撮影したものを分析したり、初動対応を確認したりして、成果と課題を明らかにしてきました。

災害はいつ起こるかわかりません。時間と場所を選びません。自分の命を守るための行動を判断して、実行できることが重要です。



グラウンドの中央に集まった子どもたち

状況に応じて判断し、マニュアル通りではなく、臨機応変な対応や避難ができるよう、今回、明らかになった成果と課題を生かして、更に防災教育を推し進めていってほしいと思います。



負傷者役



危険物から頭を守ろうと机の下にもぐる子どもたち



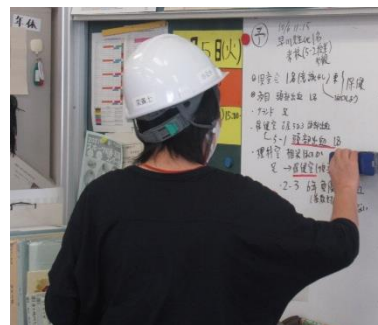
負傷者を担架に乗せて運ぶ先生方



負傷して保健室に運び込まれた子どもたち



情報収集を行い、職員に指示を出す校長先生・教頭先生



情報を黒板に整理する先生

就学時健康診断 来年度入学児童対象

毎年、就学時の健康診断を行っています。今年も3日間（10/11～13）に渡って実施されました。就学時健康診断とは、初等教育を受ける5ヶ月から6ヶ月前に行われる健康診断を指します。学校保健安全法により、次年度に初等教育を受ける予定である子どもにたいして、心身の健康を確認するために行われます。



今年度は、中央公民館がワクチン接種で使用できないため、勝山ふれあいセンターが会場となりました。当日は、町の教育委員会主導の下、教育委員会職員や教育センター職員、町内各校の先生方、医師の皆様など多くのお力により、進行することができました。子どもたちは、保護者に連れられ、先生方の指示

に従って検査を受けていました。適性検査の場所では、少し緊張した面持ちでしたが、しっかり説明を聞いて張ろうという姿に一生懸命さが伝わってきました。

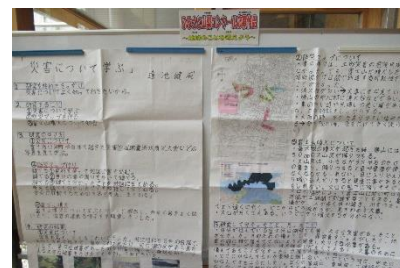
来年の4月には1年生です。子どもたちが元気に入學するのを楽しみにしています。

ジュニア防災士予定者が災害について研究

17名が夏休みの自由研究として提出

町では地域の防災力向上を目的に、夏休みにジュニア防災士講座を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止になってしまいました。資料を申込者全員に配付し、各自での取り組みを呼び掛けたところ、17名が研究を行い、夏休みの自由研究として学校に提出しました。また、「ふるさと山梨郷土学習コンクール」にも応募し、数名が入賞。取り組みへの高い評価を得ることができました。今回の取り組みは、一般的で漠然としたものとは違い、自分の住んでいる地域を直接歩いて自分の目で確かめたということに価値があります。まさに「地域を知って自分の身は自分で守るためにはどのようにしたらよいかを考える良い機会になった。」ことと思います。

作品は、町役場エントランスホールに展示されます。ぜひ、ご覧になってください。



提出された自由研究

作品展

- 日程 令和3年11月8日(月)～11月19日(金)*土日は除く
- 場所 富士河口湖町役場エントランスホール